

団体名	国立大学法人 岩手大学							
事業名	多文化キッズプロジェクト							
実施期間	①平成29年7月1日 ②平成30年1月13-14日							
場 所	①岩手大学 ②岩手山青少年交流の家							
参加者数	外国人留学生	その他外国人	日本人学生	地域住民	スタッフ	大学関係者	来場者等	合計
	20	38	16	9	8	3		94名

<実施内容>

この事業では、2つのイベントを行いました。1つ目は、外国の遊びを楽しむイベントです。岩手大学を会場にして行いました。岩手大学の留学生の出身国の遊びを、盛岡近隣に住む外国につながる子どもたちや日本人の子どもたち、保護者、日本人学生がいっしょに楽しみました。日ごろはビデオゲームなどで体を動かして遊ぶことが少ない参加者のみんなは、留学生が紹介する遊びでたくさん体を動かしました。

2つ目のイベントは、多文化キッズキャンプです。これは、岩手山青少年交流の家で1泊2日で行いました。岩手、青森、宮城、福島に住む外国につながる子どもたちの学校の学習を、留学生、日本人学生が協力しながら個別に支援しました。また、外国につながる子どもたちの保護者や日本人の友だちも参加して、雪あそび、折り紙、けん玉などの日本の遊び、卓球やバドミントンなどのスポーツを通じて、交流しました。2日目には留学生、日本人学生、子どもたち、保護者の混成チームで、チームのシンボルを模造紙に創る共同作業をしました。子どもたちからどんどんアイデアが出てきて、チームのメンバーにつながる文化が取り入れられた、素晴らしいシンボルが完成しました。このイベントは、4県合同で2012年から続けられていますが、今年参加した子どもたちの半数以上はリピーターです。勉強、遊び、共同作業を通じて、日頃はなかなか会うことができない同じ境遇の仲間や学生たちと交流を深めることで、それぞれの地域に帰ったあと、お互いがんばろうという気持ちになるようです。

参加した留学生たちは、最近の日本社会の変化(多文化社会)知り、そこで自分ができることを見つける機会になりました。

<記録写真>



盛岡での交流ゲーム



チームのシンボルができました



雪あそび、最高!

<参加者からのコメント>

K・Rさん(中国)/K・R(China)

S・Eさん(日本)/S・E(Japan)

違う年齢や国の人々と交流して、とてもいい体験になりました。また、さまざまな活動も一緒にやって、とても満足してきました。日本人の友だちもできました。次の機会に共同作業をするときには、興味が同じ人同士でグループを作れば、もっと深く話ができ、交流できるかもしれないかなと思います。とにかく、今回は本当に楽しかったです。ありがとうございます!

はじめて参加しました。子どもたちに最初はあまり受け入れられていなかったけど、最後はすごく仲良くなれて嬉しかったです。外国につながる子どもたちの音読練習を見ていた時、日本語が母語ではない子どもにとって、助詞と単語の区別が難しいということを知りました。